



環境と生活

スイスは、有能な人材の創造力と達成への意欲をかき立てます。仕事、イノベーション、創造性、レジャー、家庭、リラクゼーションが、最適に調和しています。活気に満ちた文化的な生活、美しい風景、質の高い不動産や住環境により、スイスはハイレベルな生活を約束します。



質の高い生活環境

画像
ライン川で泳ぐ人々、バーゼル

スポーツ、レジャー、リラクゼーション、文化を堪能

アルプス山脈から肥沃なミッテルラント地方を抜け、地中海の雰囲気を感じるティチーノへ。南北220キロメートル東西348キロメートルという狭い空間でありながら、スイスの景観の多様性は住民や来訪者を魅了します。夏には澄んだ湖や川で泳ぎ、爽やかな空気を満喫できます。近隣都市への移動も非常に容易です。短い距離のおかげで、どの地点であっても、電車、バス、車や船に乗りさえすれば、迅速かつ簡単に、移動を行うことができます。チューリヒ、ジュネーブ、バーゼル、ベルンなどのスイスの主要都市は、大手コンサルティング会社マーサーが発表しているランキングで世界で最も魅力ある都市として上位につけています。スイスが幸福度の高い国のひとつに数えられていることも驚くべきことではありません。

自然やスポーツを愛する人にとって、スイスは理想的な場所です。夏冬を問わず、伝説的なスイスの山々がすばらしい保養地として観光客を迎えています。多言語の世界市民的環境の中で、文化資源も豊富です。博物館・美術館、財団、画廊、祭典その他機関では、スイスと国外の芸術と芸術家をサポートしています。スイスでは、国際的に名高いカルチャーイベントが数多く開催されています。モントルー・ジャズフェスティバル、アートバーゼル、ロカルノ映画祭、チューリヒ映画祭などは代表的な例です。

セミナーや会議の開催地として最高のロケーション

素晴らしい設備を備えた一流ホテルは、リラクゼーションとウェルネスを求める人だけでなく、セミナーや会議の主催者にとっても魅力的です。世界経済フォーラム(WEF)が、政財界のトップをリゾート地ダボスに毎年集めるのは、決して偶然ではありません。ビジネスイベントのスイス開催を決めた主催者は、多様性と本物の良さを重視していると言えます。さらに、短距離移動が可能のため、濃密な体験ができることも間違いありません。



国際的な環境

画像
国連 (UN)、ジュネーブ

多様な価値観への開放性と寛容さ

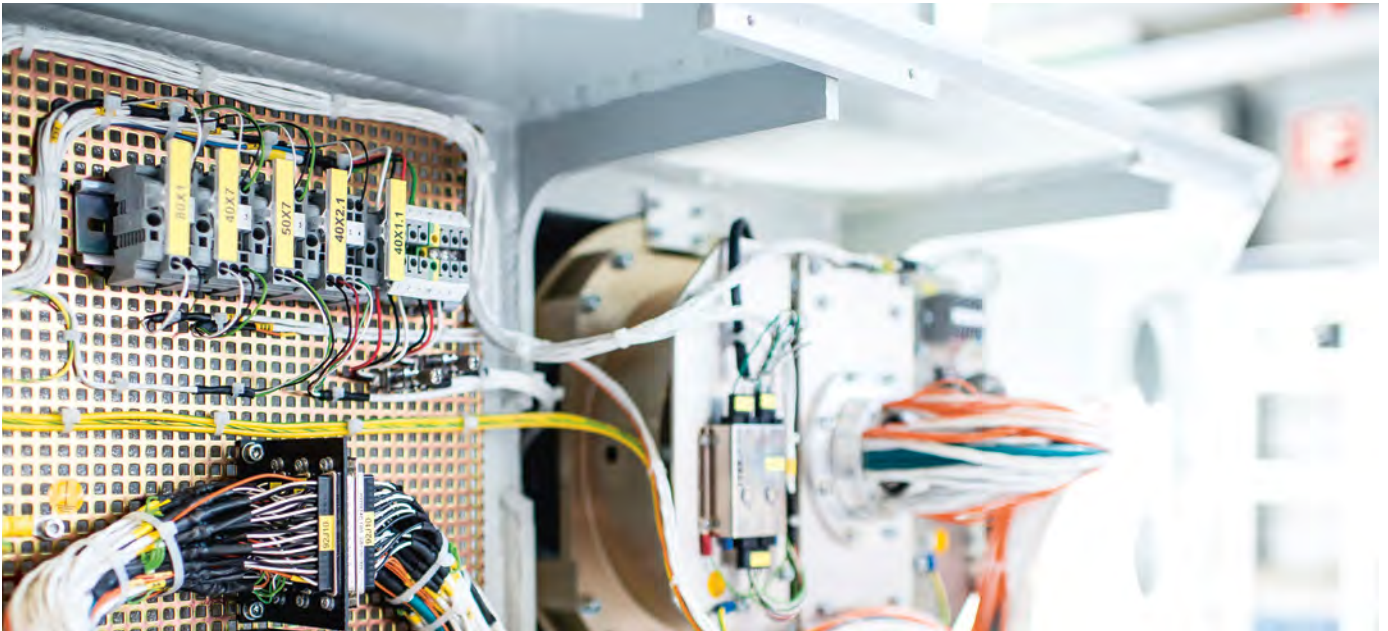
外国人就労者も外国企業も、スイスの国際性を高く評価しています。寛容さ、多言語と文化的多様性がスイスを特徴づけています。スイスは、駐在員に最も人気の高い赴任先に数えられます。外国人就労者と外国企業は、スイスの豊かさに大きく貢献しているのです。

スイスは開かれた国です。3か月までの滞在なら、有効なパスポートさえあれば入国が可能です。国籍によっては査証(ビザ)が必要ですが、その場合は各国のスイスの在外公館で取得します。滞在許可証と永住許可証は、各州の移民局が発行します。スイスに3か月を超える就労目的で渡航する場合には、労働許可が必要です。通常の場合、スイスの雇用主が必要な手続きを行います。

中立性と国際協力

外交、人道的取組、国際的ネットワークがスイスの中立政策の中核となっています。2002年以来、スイスは国際連合に加盟しています。国連の専門機関には、国連加盟以前から積極的に関与していました。また、欧州自由貿易連合(EFTA)などの国際経済機関にも参加しています。更にスイスは、特定の第三国と外交関係を結んでいない国々の利益を代表しています。

中立国であるスイスは、政治的に配慮が必要な問題を協議する会合や会議の開催地として理想的です。世界保健機構(WHO)や国際連合など、多くの国際機関がスイスに本拠地を置いている理由は、ここににあります。ジュネーブは国際協力において、世界で最も重要な中心地のひとつです。ジュネーブには、多国間の貿易システムの法律上・制度上の基盤であると同時に、グローバルレベルで国家間の通商関係を規律する唯一の機関である世界貿易機関(WTO)も本部を置いています。さらに、国際オリンピック委員会(IOC)、欧州サッカー連盟(UEFA)、国際サッカー連盟(FIFA)のほか、60を超える国際スポーツ組織がスイスに本部を置いています。その多くがグローバル本部や欧州本部です。



信頼性のあるインフラ

画像
アキュトロニック、オルテン

欧州の中心でのモビリティと安全性

ヨーロッパ内外の主要都市には直行便が就航しています。チューリヒ、ジュネーブ、バーゼルの3つの国際空港からは、様々な外国航路により、あらゆる目的地にアクセスすることができます。スイスの道路網は整備が行き届いており、世界屈指の密度を誇ります。欧州の主要な幹線道路にもスムーズにアクセスできます。鉄道やバスは、都市部でも郊外でも、正確なダイヤで運行されています。黄色い車体で有名な郵便配達車は、アルプス山間部の奥地にまで走っています。スイス連邦鉄道(SBB)と各地域輸送会社のネットワークにより、総延長5,000km以上の輸送網が整備されています。毎日約100万人の乗客が、通勤や行楽のために、10,000本を超える列車を利用しています。鉄道利用に関して、スイスは世界トップレベルです。また貨物輸送も効率的に機能しています。国内外の企業が、スイスを横断し、欧州全域に向けて毎日約210,000トンの貨物を輸送しています。2016年にはゴットアルドベーストンネルが開通し、世界最長の鉄道用トンネルとして運用されています。

自社オフィスビル、テクノパーク、管理業務を行うサービスオフィスなど、企業活動に適した、高級感溢れる、魅力的な不動産が数多く提供されています。外国人による不動産購入に関する規制は、ここ数年で大幅に緩和されました。

全国を網羅する安定したインフラ

充実したインフラは、情報化時代を生きる人々の厳しい要求にも応えます。IBMやGoogleなど、世界をリードするIT企業がスイスに拠点を置く理由は、インフラやデータ技術の安全性と信頼性にあります。スイスはさらに、全国を網羅する安定したエネルギーと水の供給網を誇ります。欧州の貯水池と称される豊富な水資源を活かし、再生可能エネルギーである水力を積極的に活用しています。

スイスの医療制度は世界最高水準です。診療所や公立病院、多くの民間クリニックや専門病院で、ハイレベルな医療が高度な訓練を受けたスタッフによって提供されています。スイス人の平均寿命は83才で、世界でも有数の長寿国です。